

受験生を死に追いやったもの

松前町岡田中学教諭・めざす会幹事 大津寄章三

衝撃的、というよりむしろ面妖な事件である。広島県府中町でおこった中三生の自殺は職業柄初報から記事やネット情報に目を通していたが、おそらく愛媛県ではありえない事件、というのが第一印象であった。

まず（教員の転勤があるとはいえ）わずか二年で万引きという刑法を犯した生徒名の記憶と記録が教員集団から欠落してしまうものかどうか、また、生徒が万引きして学校から家庭に連絡がない、ということがありえるのか、という点にひっかかった。また、この学年はなかなか荒れた経歴をもつらしく、従来の推薦基準を厳格化し、一年時とはいえ刑法犯は高校に推薦しないというように改めたという。それはそれでひとつの教育的見識であろう。しかし、それならその適用は新一年からでなくてはならない。法の不遡及は社会ルールの基本中の基本であり、消しようもない過去の不始末を年度途中からの新基準で裁かれたのでは生徒も家庭もたまったものではない。さらに事件発覚後もたれた保護者会に体調不良を理由に担任を欠席させたのは学校側の致命的失点とあっていい。非難が集中し炎上することは目に見えている。しかし、誠意を示すためにはここは40度の熱があろうが入院していようが這ってでも出席せねばならない切所なのである。

このように世評は強烈な逆風となって学校側に吹き荒れ、町教委には脅迫電話すらかかる有様だという。確かに調べれば調べるほど教員の手落ちと勘違いの連鎖は深まるばかりであり、教員個人の資質から学年部のチームワーク、進路指導體制、生徒指導方針、また管理職のリーダーシップに至るまでその問題点は徹底的に洗い出されなくてはなるまい。

しかし、なのである。世間が反論のカケラすら許されず一方的な謝罪に終始するであろう学校側をドラムのように叩き続けていても死んだ生徒が生き返るわけではない。学校を弁護するわけではないが、亡くなった生徒自身もきっぱりと万引きの事実を否定するでもなく、誤解されかねないサインを周囲に送り続けた点もあったという。

今回の事件でメディアが一切報じなかったし、また報じることができなかったものは「生徒は本当に死ぬしかなかったのか」という点なのである。誤解をおそれず書かせてもらえば、世間には冤罪など大小いくらかころがっている。「それでもボクはやっていない」という痴漢冤罪をテーマとした映画もあったが、15歳という多感な少年期であったことを差し引いても、私には彼の行く先が「死」しかなかったことに疑念を挟まざるをえない。

校内選考の対象外となったのは推薦入試なのであり、一般入試の機会が潰えたわけではない。また、してもいない万引きを明確に否定しなかったことも「どうせ言っ

も先生は信じてくれない」という世をすねたような諦念にしても、それは彼自身の弱さに起因するファクターと思われる。不条理と戦うという立ち位置はなかったのか。さらに気になるのは、家庭や友人が死への歯止めとなっていなかった、という点である。子供とはいえ死が脳裏をかすめるほどのつらさや悲しみは時として存在する。しかし、たいていの子供はそのくらいでは死なないのである。誤解され、批判され、場合によっては無視される——そういう狭間に落ち込んだとき、人は同時に自分を支え、励まし、自分がやけをおこし早まったことをしたとき嘆き悲しむであろう人のことに思い至るのである。彼の心の中にはそういうストッパーは育っていなかったのであろうか。多くの人のぬくもりと羽交いの中で生い育った子供はそう容易には死ぬことは選ばない。義務教育を終えるという年齢のこの生徒に「自分の命は自分ひとりのものではない」という自明の哲理をだれ一人教えてこなかったのであろうか。

世は学校側と教員の糾弾に余念がない。私も同業者として同校の多くに疑念をもつ一人であることは同じである。しかし、ややともすると社会正義をふりかざし一方にのみ責任を押しつけ、彼が死ぬしかなかったかのような印象操作をすることは、多くの困難に立ち向かった、あるいは立ち向かいつつある若者に対する無礼ともなるのではないか。人は環境の奴隷ではない。痛ましい事件として心に留めつつも、私たち大人は子供に死を選ばせない生き方をしっかり教え込むとともに、自らが彼らに死を思いとどまらせる防波堤にならなくてはならないのである。

■府中町中三生自殺事件■

広島県府中町で昨年12月に中学3年の男子生徒（当時15）が自殺した問題で、学校側が「（生徒が）1年生の時に万引きをした」とする誤った記録をもとに進路指導をしていたことが分かった。この記録にもとづき、学校側は生徒が志望した私立高校に対して学校長による推薦はできない、と告げていた。生徒はこの指導内容が保護者に伝えられた12月8日の夜に自殺した。

専業主婦は古いのか 「裏方でなくプロデューサー」

昨年12月、東京から大泉◎◎記者がご来松のおり、家族の価値を問い直す特集を企画中とお聞きしていました。その一環の記事と思います。東京版です。女性の持つ多方面の能力をフルに生かせるのは主婦という仕事だと思っておりましたが、「プロデューサー」ということばが言い得て妙です。

30年間、欠かしたことの無い日課がある。埼玉県和光市の安齊昭子さん（61）は2人の子供が独立した今も、夕食後や料理の合間に、家計簿に向き合う。

バブル崩壊や夫の50歳での病死など、主婦として多くの難局に直面してきた。厳しい時期もあったが、家計簿を見れば必要な収支が分かるので怖くはなかった。「家計簿のおかげです」

27歳で結婚。長女の出産を機に退職した。数年後、雑誌「婦人之友」の愛読者を中心とした「友の会」の講習会へ参加したのが転機となる。家事技術の向上を目指し、家庭から社会へ発信していこうとする主婦らの集まりで、漠然とこなしていた家事に価値があることを知った。

家計簿は「将来の家族像を描くための材料」と、出産中も義母に頼んで記録し続けた。家族で家計簿を囲み、子供の小遣い額も、教育費などの支出を本人に説明した上で話し合った。

「家事を全てするのが主婦ではない」と安斉さん。子育ては「自分のことは自分で」を信条に、子供部屋を片付けたことはない。日頃から手伝いをしてきた長女は小学3年から米をとぐ。子供に心を配り、自立を促すのは「主婦ならではの使命」だと思っている。

40代でパートを始めたが、今も友の会の仲間と研鑽を重ねる。「主婦は裏方ではなくプロデューサー。子供や夫が社会に貢献できるよう育てる責任がある。衣食住、家計、子育ての全てが社会につながっている」。安斉さんは断言する。

「価値の再発見」

主婦を取り巻く環境は20年余りで大きく変わってきた。平成4年には専業主婦世帯の数を共働き世帯が逆転。主婦自身の意識の変化を象徴するのが、雑誌「すてきな奥さん」の歩みだ。

発行元の主婦と生活社によると、月刊誌として創刊された2年当時はキャリアウーマン全盛期。主婦に仕事を持っていないというコンプレックスや、“取り残され感”が漂う中、「家の中の何げない工夫にある価値の再発見」を掲げた読者参加型の雑誌は反響を呼んだ。

「本人が意識していない工夫が実はネタの宝庫だった」と同社の池田直子さん。「実例」として登場する等身大の読者も共感を集めた。

その後、パートなど仕事を持つ読者の割合が徐々に増加したことなどを受けて26年に休刊。一方、年1回の増刊号として「新春すてきな奥さん」の発行は継続、昨年11月発売の最新号は「時短おせち」「ラクピカ大掃除」を特集するなど、家事時間が限られた「働く主婦」を意識した内容だ。

一方、変わらないものもある。池田さんは「家族に幸せな生活を送ってもらうために責任をもって家事をやろう、という意識は受け継がれている」と話す。

マミートラックの壁

興味深い調査がある。国立社会保障・人口問題研究所がライフコースに関して未婚女性に尋ねたところ、「理想」として「専業主婦コース」を答えた割合は17年からの5年で微増、「予定」として「専業主婦」を選んだ割合は減少した。

これを専業主婦志向への回帰とみるのか。日本女子大の永井暁子準教授は子育てとの両立を目指す女性が責任ある仕事を任されず、昇進が頭打ちになる「マミートラック」と呼ばれる現状を指摘。「理想」の微増は「仕事にキャリアを描けない女性が第2の選択肢として選んでいる可能性がある」としつつ、「予定」の減少は「夫の収入増が見込めないから、専業主婦になるのが難しいのも分かっている」という現実的判断とみる。

男性側も冷静だ。未婚男性が相手に「期待」するコースで「専業主婦」とした回答は減少。永井準教授は「自分1人で家族を養えると言い切れる男性が減っている」と話す。

かつて夫が「お前、女房働かせていいのかよ」とさえ言われた共働き世帯は、経済的な安定から「いいな、女房が働いていて」と羨望の対象になりつつある。

一方、安斉さんは家庭への影響にかすかな懸念を抱いているという。

「母親が忙しすぎると家事を教える余裕がなく、子供が何も身につかないまま育ってしまう」。弁当箱を布で包んで結べない子供もいる。「家庭でしか教えられないことがある」と安斉さん。いつか親に代わって、子供たちに食事作りや片付けなどを教える教室を開きたいと思っている。

「価値」漂流 第1部 家族のかたち

産経新聞東京版 平成28年1月4日(月)

子宮頸がんワクチン
～脳障害発症と割 共通の白血球型～

【朝日新聞 28年3月17日付け】

子宮頸がんワクチンの副作用問題で、厚生労働省研究班は16日、脳障害を起こした人の約8割が、共通の白血球の型（HLA型）を持っていたとする調査結果を発表した。今後の調査で副作用との関連が明らかになれば、ワクチンの接種前にHLA型を調べることで健康被害を減らせる可能性があるとしている。

研究班によると、ワクチンの接種後に記憶力の低下などの脳障害を起こした計33人のHLA型を調べた結果、26人が同じ型を持っていた。日本人でこの型を持っているのは4割前後。

研究代表者の池田修一・信州大教授は、まだ調査人数が少ないため断定的なことは言えないとしたうえで、「一般的な割合と比べて高い。副作用として脳障害の出やすい人の遺伝的な要因となる可能性がある」と話した。研究班はさらに対象を150人まで広げ、副作用との関連などを調べるといふ。（福宮智代）

報道されない親日 報道されない皇室・ 皇室報道やりたい放題

私達がネットを通じてよく知っている情報でも、テレビと新聞しか見られない方々には今まで触れたこともない想像もいかない内容であろうと思います。メディアは偏向していると言う人でも、NHKだけは信頼できると平気でいわれるとこちらの力が抜けてしまいます。ネット世代と未ネット世代の隔たりは大きいです。前号に続き、伊勢先生のメルマガから転用させていただきます。

■■■国際派日本人の情報ファイル■■■

伊勢雅臣

■報道されない親日

●最も信頼できる国・日本がダントツ1位 そういえば「日本はますます世界で孤立」ってマスゴミや反日政治家が言った...日本人としてすごくうれしい、この結果を見てどう思うんだろう？

<https://pic.twitter.com/PbUNQjRsXj> 2015年04月02日(木) ミキ@JDjapan@Lovely_Japan

【事務局注】ASEAN地域7カ国における対日世論調査（外務省が委託 2015年3月）を青山繁晴氏が紹介。最も信頼できる国は？という問いに対して、日本 33% ・ アメリカ 16% ・ イギリス 6% ・ 中国 5% ・ 韓国 2%。

●【集团的自衛権 第5部 5つの歪曲(2)】中韓除く環太平洋諸国は支持 周辺国反対論の「虚像」
<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/40803/plc14080313120009-n1.htm>... 「アジアは反対している」は中韓、日本の野党とマスコミの一部が共闘して生み出した虚像にすぎない。

<https://pic.twitter.com/Im8pbyKecq>

●放送権を握っていた売国メディアのフジテレビは日本への励ましのシーンを全面的にカットし、キムヨナ特集にすり替える編集を行った。だから日の丸を囲んで世界が手をつなぐ巖かで美しいシーンを、殆どの日本人は見えていない。

<https://pic.twitter.com/OEFGbZVmsr> 2014年09月10日(水) 吉原 厚子@YoshiwaraAtsuko

【事務局注】白地に赤い日の丸の円周に選手が立ち並んだ美しい構図です。

■報道されない皇室

●マスコミが絶対に報道しない沖縄県の姿 天皇陛下が沖縄を訪問された際、7千人が日の丸を掲げ提灯パレード。陛下が泊まっていらっしゃるホテルに向かって君が代斉唱。

<https://pic.twitter.com/QLV34yAvtL> 2015年04月13日(月) ミキ@JDJapan@Lovely_Japan

●インドを御訪問された天皇陛下は、晩餐会において毎年原爆の日にインド国会で全議員が追悼し黙祷を捧げている事に触れ「国を代表し、犠牲者の遺族の心を酌み、心から感謝の意を表します」と挨拶された。今までマスコミが報じず、国民が知らない話だった <https://pic.twitter.com/xR154LlAj> 2015年08月06日(木) ShounanTK@shounantk

●NHKよ、今日は天長節だ、それを祝うニュースをトップに持ってくるのが日本国として有るべき報道の姿とちがうか？ それなのにこんなくだらないニュースをトップに持ってくるって陛下より南朝鮮の出来事の方が重要度高いのか。ニダ様のNHKだ。

<https://pic.twitter.com/o8oGf1zRtY> 2014年12月24日(水)

■皇室報道やりたい放題

●NHKは世論誘導か、洗脳を企んでる？ 4月18日放送 NHKスペシャル◆戦後 天皇をどうすべきか 第一位 殺害する 36% 第二位 処罰もしくは国外追放 24% 第三位 裁判で有罪なら処罰 10% <https://pic.twitter.com/QuzbzyekbV> 2015年06月19日(金) 丘田@okada014

●各紙が見出しで引用した天皇陛下のお言葉は…「歴史を学ぶことが大切」(朝日)「歴史学ぶことが大切」(日経)「歴史学ぶこと 極めて大切」(毎日)「戦争の歴史学び考えること大切」(東京)「日本のあり方考える機会」(読売)「日本のあり方考えていくこと極めて大切」(産経) 2015年01月01日(木)

●朝日新聞、陛下の稲刈りの記事で、陛下への敬語が全くない中でも「(マンゲツモチ20株はいずれも)5月に自ら田植えしたもの」という表現は、不敬を通り越して、衝撃を受けるレベルです。

<https://pic.twitter.com/fL21bW5gTM> 2014年09月27日(土) すみれ@4sumire

【事務局】自ら、ねえ、と思ったら同じ表現に週刊ポスト3・18号(53頁)で出くわしました。記者は陛下に敬意はお持ちでないのではないようですが・・・。「昨年、豪雨被害を受けた茨城県を訪問した際には、冷たい雨が降りしきる中、両陛下は傘も差さずに長時間黙祷を捧げ、その姿に被災者は大いに勇気づけられた。そうした国民への労りと同じように、自らの健康への心遣いを多くの人々が願っている」というものです。やっと通じた小学館編集部の男性は、どこがどのように問題か具体的に述べよ、言わないと分からない、名前は言えない、問答するつもりはないから電話を切るぞ。防御的で一切コメントしないという姿勢でした。

●NHKは皇室への敬語について「できるだけ平易で簡潔であることを基本的な考え方として、親しみのある敬語を使用しています」と説明する。つまり必要最小限度でしか敬語を用いないということ。「薨去」より「逝去」の方が親しみが持てるその理由を聞いてみたいものだ。2014年06月10日(火) 竹田恒泰@takenoma

順不同～教員あるある列伝

大津寄 章三

大津寄先生はこの春、定年退職。38年間の教員生活にピリオドが打たれます。講師としての大津寄先生にはよくお会いしましたが、「学校でこんな先生でいらしたんだ！」と思いながら読ませていただきました。

●スーツ姿でスニーカーを履いている人を見かけると同業者に違いない、と思う ●出来の悪い生徒のテストはどうしても甘くつけてしまう ●終業式の日の夕方、街へ向かう郊外電車は同業者だらけである ●今までことあるたびに反目してきた小憎らしい生徒なのに、卒業したとたん

何の分け隔てもなく笑顔で話せる●コンビニでマンガの立ち読みをするとき、店員が教え子ではないかといっチェックしてしまう●給食でカレーが出た日はなぜか夕食もカレーのことが多い●めったに挙手しない生徒が授業中手を挙げると「はいっ、□△！」と指名がハイテンションになる●冬になるとチョークを持つ右指だけあかぎれになる●三十年前の教え子と同窓会を開くと、もはやだれが恩師なのか第三者には見分けがつかない●放課後部活動のため更衣室でジャージに着替え、その服装のまま帰宅するため家から次第にネクタイが減っていく●業者が持ってきたワークやドリルをこっそりコピーして急な自習に使ったことがある●家庭訪問中、冗談半分に「先生はリポDが好きです」と言ったら行く先々でリポD攻めに遭った●学校に遊びに来た卒業生の名前や高校を忘れてしまっており、しばらく探索射撃のような会話が続きことがある●他の教員が生徒から取り上げたコミックを読みふけてしまう●お互い「先生」と呼んだら罰金百円ね、という約束で出発した職員旅行で二千元以上とられたことがある●自分のクラスの生徒が万引きしたら、他クラスの生徒がした十倍も腹が立つ●どえらい違反の服装をしていたとしても他校生であれば決して注意をしない●授業中私語を続ける生徒めがけてチョークを投げつけたら隣の生徒に命中した●どんな問題を出しても百点をとってしまう生徒を凹ますため、トリックのようなひっかけ問題を出したら誰も解けずヒンシュクをかってしまう●式練習の時、でかい声で校歌を範唱していたらよく声が裏返ってしまう●四時に出張が終わると部活動に戻るべきか直帰するかしばらく迷う●善良な生徒に「ここまちがってたのにマルがついてました」と正直に答案を持ってこられると点を下げるのに心が痛む●空き時間、職員室でくつろいでいると二十分もたってから学級委員が「先生、授業です」と呼びに来る●生徒に「給食残したらアカンぞ」と言いながら苦手の鶏レバーは恩着せがましく生徒に与える●教員の不祥事が地方紙に載るたびに知り合いではないかドキドキする●職員室の冷蔵庫にしまっていたプリンがいつの間にか消えていたので、代わりにだれかのヨーグルトを食べたことがある●街の中で「先生！」と呼ばれたので思わず「おう！」と振り返ると全然人違いでありバツの悪い思いをした●夏休み明けに久しぶりに生徒にあつたら身長が抜かれていてショックをうける●他教科の成績が「5」なのに自分の教科だけが「3」の生徒がいると妙に不安になる●授業中挙手している生徒の名前を失念していることに気づき、あわてて次の話題に転じる●調理実習で「味見してください」と豚のしょうが焼きなど持ってくる生徒はつくづくかわいいと思う●理不尽なクレームをつける保護者にもていねいに電話応対をするが、切った直後「なにいうとんぞ！」と職員室で怒鳴る●管理職がそろって出張でいない日はなぜか職員室の空気がなごんでいる●台風で警報が出そうなときはつい生徒と同化して「休校になれよ」と願ってしまう●髪を切ってきた女性の先生に「失恋でもしたの？」といらんことを言い、しばらく口をきいてもらえない●イカンと分かっているのに運動会が迫ってくると自分の授業や道徳の時間が長縄飛びやムカデ競争の練習にかわる●研究会発表当日は見たこともないほど教員の服装がビシッと揃っている●冷たい木枯らしの日はいつも門外でタバコを吸う先生が車の中でふかしている●なぜか自宅に前任校の備品シールが貼られたラジカセがある

『イクボス』 ご存知ですか？

3月15日付けの親学推進協会のメルマガから転載致します。辻先生は、4月10日の愛媛親学アドバイザー認定講座の講師でいらっしやいます。

親学推進協会 理事 辻 由起子

『イクボス』とは、部下や次世代と社会を「育てる」「ボス（上司）」のことです。具体的には、部下の私生活とキャリアを応援し、自らもワーク・ライフ・バランスを満喫し、組織の

目標を達成するボスです。

昭和の高度成長期のように、多くの労働者を一括管理する「一億総中流」時代は既に終わりました。現在は、社員の多様なライフスタイルにあわせて、働き方をカスタマイズする時代です。

今までのように長時間労働を「善」とし、何もアクションを起こさないままだと、育児や介護などのライフイベントが起こった時に対応できず、離職する社員が増えてしまいます。「大介護時代到来で離職者 10 万人」そう試算されている 2025 年は目の前に来ています。少子化で介護の担い手が減少している一方で、団塊世代が 75 歳を超える 2025 年には、認知症患者が 700 万人を突破すると予測されています。

「男は仕事」、「女は家庭」という、旧来の価値観を貫き通したままでは、「一億総活躍社会」ではなく、「一億共倒れ」社会になることが容易に想像できます。

「人口ボーナス期」と呼ばれる、生産人口が増え続けていた時代は、家庭の担い手も多くいたためそれで良かったのかもしれませんが、「人口ボーナス期」と呼ばれる高齢者人口が急増する一方で、生産年齢人口が減少し続ける時代では、仕事だけに集中してしまうと、家庭の担い手がいなくなってしまいます。家庭が機能しない分を社会で補うと、社会保障費が膨らみ、増税という形で再び個人に跳ね返ってくる悪循環が生まれてしまいます。

どうすれば「共倒れ」を回避出来るか。その対策を教えてくれるのが『イクボス研修』であり、その対策が出来る上司が『イクボス』です。『イクボス宣言』は 30 以上の自治体の首長が既に行っています。北九州市では、管理職全 6 1 5 人が宣言しました。1 月 19 日には私の住む大阪でも、東淀川、生野、住吉、西成の 4 区長が宣言してくださいました。

『子供が病気の時くらい休みなさい。仕事はみんなでサポートするから』『生きている間しか親孝行出来ないのだから、介護を優先させなさい』『家庭が落ち着いたら、職場で活躍してね』そうしてくれる『イクボス』が職場に増えることで、介護離職が減りますし、病児保育や延長保育の整備をこれ以上しなくて良くなりますし、何よりも、家庭が安定することで、仕事にも集中して取り組むことが出来ます。

行動変容は、意識変容から始まります。まずは『イクボス』について知ってください。

大阪府子ども家庭サポーター/子ども虐待防止アドバイザー・茨木市市政顧問

救う会愛媛より

1 8 日（金）に救う会愛媛（北朝鮮による拉致問題を考える愛媛県民会議）の役員会が開催されました。この日の朝の北朝鮮による暴挙を受けて、県内のメディアも多く集まっていました。

蓮沼透氏の著書が話題なり、中矢会長から中央の見解が紹介されました。薫氏は救う会の活動に協力的でありまともな方と評価されているが、横田滋氏との対立で事務局長をやめた透氏は、救う会に反対するような団体に行っては講演しているとのことでした。

平成 2 8 年度も毎月第 2 土曜の午後 1 ～ 2 時にいよてつ高島屋前で街頭署名活動が行われます。また東温市では 7 月に「めぐみー引き裂かれた家族の 3 0 年ー」が上映予定でございます。

◆◆ 事務局から ◆◆



★4月10日(日)の高橋史朗先生の親学講演会のちらしを同封致しました。是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。ご縁のある方々にもお配りいただけるとありがたいです。

★現在、愛媛県には親学アドバイザーが数名おられますが、4月10日と17日の「親学アドバイザー認定講座」で、あらたに10名近くのアドバイザーが誕生いたします。

★4月29日(祝・金)「拉致問題を考えよう」のちらしを同封致しました。

★日本に滞在歴3年の50代のイギリス人。フーバー大統領の『Freedom Betrayed (裏切られた自由)』を差し上げました。流石ネイティブ!読むのは早い。早速、フーバー大統領への賛辞とともに、日米戦争はアメリカ国民でもなく、アメリカ議会でもなくホワイトハウスによって引き起こされたこと、原爆は戦争を終結するためではなかったことに大きなショックを受けたと感想がきました。日本人女性と結婚して、日本の生活を享受しているも日本は悪者だと習ってそのまま信じているのですね。欧米人は総じてそう思っているのですね。その現実を知り私はショックでした。加瀬英明先生会長の「史実を世界に発信する会」(事務局長・茂木茂道)はバイリンガルでタイムリーな情報発信や書物の翻訳をされています。

★先日、某業者さんが契約の判子をとりに来られました。たまたま靖国神社月報に目を留められ、数年前ご親戚の結婚式で上京された折り靖国神社に参られたこと、どうしても行きたかったことなど話し始められました。大学の史学科で学ばれた歴史好きで、今の近現代史には違和感を持っていると。憲法改正の行方など深く憂慮されている一方で、日常生活でこうした発言をするとレッテルを貼られるからできないと。そういう人が日本会議を中心とする真正保守の団体にご縁ができることを祈らないではおれません。

★ターニャはケニア人。愛大研究室の留学生であるご主人と8歳と4歳の子供とともに松山に住んで2年。英会話学校のパートの掛け持ちが忙しい。曜日によってはパート先から幼稚園に女兒を迎えに行き夕食を作り、男児が帰宅するや別のパート先に向かう。男児は武道を止めさせざるを得ず家でゲームばかりしている。「働かないとやっていけないの?」「そんなことはない」「じゃあどうして家にいてあげないの?」「My satisfaction!」(自分の充足感)自国に住んでいてさえ子供が小さいときはお母さんの愛情がいっぱい必要。まして外国で生活しているのに。どなたか日本の良妻賢母の形を見せてあげていただけないでしょうか。

★会費の切れる会員の方には払込用紙を同封しております。引き続きご支援下さいますようお願い申し上げます。年会費は現在、2,000円でございます。封筒のアドレスシールの住所のあとの数字は今まで会費を納入していただいた〈年と月〉を表しています。



健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井美智子 〒791-0221 東温市上村甲218

電話 090-8971-7721 Fax 089-964-3903

<http://www.mezasukai.com/>

m-michikoaoi25@yahoo.co.jp